

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」稻田堤校			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数)	37
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援を通して、利用者様一人ひとりの個性や良さを伸ばしてもらえるようなサポートが行える。 たくさんのコミュニケーションをとることにより、自分のことについての理解を深めていく機会にもらっている。（自己理解・自己認知）	利用者様の意思決定を尊重しています。（選択・決定） 支援の内容は、利用者様の興味関心のあることを中心に設定します。 他者との関りやより良い社会性を育んでいってもらうために、定期的に小集団活動を取り入れるようにしています。	より丁寧なサポートを行っていくために、利用者様や保護者様と定期的な面談を実施し、ニーズの把握を行っています。 必要に応じて、学校や他事業所との連絡をとり、情報の共有を行っています。 状況に応じてケース会議を開催し、利用者様についての共通理解を図れるよう努めています。
2	長期休暇等の期間には、学年を問わず楽しめるワークショップやイベントを開催している。（絵画教室・eスポーツ大会等）	職員で計画を立てるだけでなく、利用者様の思いや考えもイベントに反映させるようにしています。 場所や必要なものはこちらで用意しますが、会の進行やルール設定等は利用者様が中心となって考えてもらっています。	通っている利用者様の興味関心を定期的に把握し、今後も様々な種類の小集団活動を計画していきたいと考えています。
3	地域の関係機関（学校・関係機関・地域施設等）との繋がりを大切にしている。	利用者様が通っている学校や関係機関等に定期的に訪問し、教室以外での様子（成長・困りごと等）の把握を適切に行えるようにしています。 地域の資源を有効活用し、自立に向けた経験を増やしたり、余暇時間の過ごし方を教えるきっかけにしてもらったりしています。	利用者様を包括的に支援できるように、関係している機関との連携をより丁寧に行っていきたいと考えています。 教室での活動内容について多く知りたい方のために、SNSを通して適宜発信していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族の対応力向上の為のペアレントトレーニングや、複数のご家族が合同で参加できる研修や交流の場の設定。	現在、ご家庭ごとの困り感に対して、個別の対応は行っていますが、集団での実施には至っていません。	ペアレントトレーニングを目的とする保護者会を計画し、保護者同士の交流の場面も設定できるようにしたいと考えています。 進路（進学・就労）についての相談会を検討していき、同じ悩みや不安をお持ちの方々が、情報共有できる場を設けています。
2	教室内の活動が中心となるため、地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	個別支援を行う教室になるため、地域の子どもたちと関わる機会が少ない状況となっています。 学校が終わった後に通室してもらっているため、地域の交流の場に行くことが難しい状況となっています。	地域の保護者様が主催したイベントなどには協力させていただき、教室に通っていない子どもたちにも来所していただきました。 今後は更に利用者様と地域住民の方々の交流が行えるよう、季節ごとのイベントを計画していきたいと考えています。
3	父母会、保護者会等の開催頻度が少ないとにより、保護者同士の交流機会が少ない。	年間のスケジュールの中で、父母やきょうだいが参加する行事が少ない状況となっています。	保護者様やきょうだいが自然と交流できる場所や行事等を定期的に計画していきます。 参加しやすいスケジュールを組んでいけるよう、ご希望のご家庭に対しての日程調整を行っていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」稲田堤校							公表日	2026年 2月 14日		
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご利用児童数	56	回収数	37
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35	2	0	0				利用者様の状況に応じて、活動スペースを適宜調整するようにしています。(粗大運動・創作活動・学習課題等)	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	36	1	0	0				利用者様に安心して過ごしてもらえるように、職員配置を調整しています。職員の専門性を高められるように、今後も積極的に研修等に参加し、より良い支援を行えるように努めています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	35	0	2	0	入口は段差があり、バリアフリー化されていないが、室内はわかりやすくバリアフリー化されていると思います。			視覚的に分かりやすいような配慮を行っています。(活動スペースやトイレ表示、掲示板、教材棚等)	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37	0	0	0				日々、清掃や消毒を徹底しています。感染症が流行している時期には、ごまめに消毒をしたり、換気を行っています。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32	5	0	0	小学生の頃よりお世話になっておりますが成長に合わせて支援の内容等も変化してくださり大変助かります。			利用者様の意図を丁寧に受け止め、可能な限り理解できるように努めています。 教室での活動に主体性を持って取り組んでもらえるよう、利用者のニーズを適切にアセスメントしていきたいと考えています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35	2	0	0					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	35	2	0	0					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	5	0	0					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	4	0	0					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	4	1	0					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	8	19	6					
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	0	0	0					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33	2	2	0	更新時は対面の説明ではなく、事前に作成された計画書を書面で確認しています。個人的に計画書更新時は面談をしたいので、書面だけでなく面談の機会を設けてほしいです。			支援計画をお渡しする際には、保護者様だけでなく利用者様にも説明するように心がけています。 面談時にも今後の計画についてお話をすると機会はありますが、今後は更に充実させていくよう努めていきます。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	6	11	7	障害という域まで達してはいないため、トレーニングは受けておりません。			保護者の方に対して、家庭で実践できることなるべくお伝えするようにしています。 生活に即した方法を今後もお伝えしていくよう心がけていきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	32	5	0	0					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	5	4	0					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37	0	0	0					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	9	13	9	保護者会があると嬉しいです。きょうだいへの支援があったことできょうだいの支援にも繋げたので有難かったです。部活動をしていた高校生たため交流等の参加はしておりませんでした。			保護者会や座談会等だけでなく、各種ワークショップ等のイベントを開催しています。希望がある方には、その都度参加をしていただいている。	

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31	2	0	4	そのような状況になったことがないのでわからぬいのですが、おそらく迅速にご対応いただけると思います。	ご相談がある場合には、可能な限り面談を設定するように努めています。 緊急性がある場合には、当日対応を行うこともあります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	2	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26	4	4	3	インスタグラムでの発信も楽しみにしています。	教室内の掲示板を利用者様の作品掲示用と事務連絡用に分けています。また、インスタグラム、LINE等を用いて、教室の活動の様子が伝わりやすいよう工夫も行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	6	0	7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	8	2	13		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	2	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	0	2	9		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	37	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	37	0	0	0	きらりに行くことを楽しみにしています。	利用者様に毎回の利用日を楽しみにしてもらえるように、一人ひとりのニーズを適切に把握し、より良い時間を提供できるように努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	2	0	1	小学生からお世話になり、中学高校と続けてお世話になっております。 試験の対策やわからない箇所を聞いたり、部活動で忙しくしていた時期には柔軟に曜日等は通いやすく配慮してくださいり大変感謝しております。 現在は入試の方を指導していただけており大変ありがとうございます。	利用者様それぞれの発達状況に応じて、支援の内容や方法を変化させていきます。 保護者様にも気軽に相談していただける雰囲気を、今後もつくっていきたいと考えています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」 稲田堤校				公表日 2026年 2月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守した支援スペースを確保しています。 支援内容によって調整を行い、十分な活動スペースを確保しています。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		年度によって職員数の変動はありますが、利用者様が安全に活動できるように、その都度適切な人員配置を行なっています。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		入口にスロープ等は有りませんが、教室内は利用者様が過ごしやすいように配慮しています。(教室内表示、活動スペースの安全面への配慮、視覚的な表示等)	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		遊び・学習・休息など、目的に応じてスペースを分けています。 利用者様の特性に合わせて刺激を調整しています。(視覚刺激を減らす、音を抑える等) 必要な道具が取り出しやすく、片付けやすい環境しています。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、休息やクールダウンのできる場所を設定しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		より丁寧なサポートを行っていくために、利用者様や保護者様と定期的な面談を実施し、ニーズの把握を行っています。 必要に応じて、学校や他事業所との連絡をとり、情報の共有を行っています。 状況に応じてケース会議を開催し、利用者様についての共通理解を図るよう努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年度ごとに保護者アンケートや評価表を配布し、事業内容の改善に取り組んでいます。 今年度からアンケートの形式をオンラインと紙媒体両方で行い、回答を行いやすいように配慮しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		教室内でのミーティングを実施し、職員の意見をもとに、支援方法や環境の見直しを行っています。 課題に対して具体的なアクションを実施するために、職員全体で情報共有を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に各種研修に参加し、職員全体の支援の質の向上を図っているように取り組んでいます。	
支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ペアレントトレーニングを目的とする保護者会を計画し、保護者様同士の交流の場面も設定できるようにしたいと考えています。 進路(進学・就労)についての相談会を検討していき、同じ悩みや不安をお持ちの方が、情報共有できる場を設けています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		計画については保護者様に説明をし、内容の共有をさせていただいている。 利用者様の発達状況や特性、ニーズに基づいて作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		作成した計画を職員間共有を行い、計画に基づいたサービスを提供できるように努めています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		教室全体で利用者様の支援を行えるように、日々のミーティングや打合せ等で情報の共有を行い、チーム支援を行えるように努めています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		利用者様のニーズや興味関心を適宜把握し、教室での活動に主体的に取り組んでもらえるように配慮しています。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		利用者様の発達状況やニーズに合わせて、個別と集団での活動が行えるよう、計画を作成しています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		その日の支援について、職員全体で打ち合わせを行い、情報の共有を行った上で支援を実施しています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		職員全体で打ち合わせや引き継ぎを行い、その日の支援を実施できるようにしています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日々の支援の記録をデータとして残し、利用者様の様子や発達状況について教室全体で常に共有できるように努めています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		6ヶ月(必要に応じて期間の短縮をすることもあり)ごとに、利用者様の状況に応じて、計画の見直しを行っています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		利用者様の意思を尊重し、活動内容を選びやすく、主体的に活動してもらえるように配慮しています。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者だけでなく、利用者様の特性や得意・苦手を把握している職員が参加しています。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		幼稚園、保育園、学校等の関係機関との連携を常に心がけています。 利用者様のことを包括的に支援できる体制を整えられるように努めています。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		学校の時間割や行事等については、年間行事予定表を確認させていただいている。 利用時間が変動する際には、事前にご連絡をいただいたうえで、利用者様が安全に通うことのできるような時間帯を提案しています。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		就学前に通っていた園と情報共有を行い、就学後にどの様な支援が必要かと一緒に検討する機会を設けています。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		<input type="radio"/>		移行支援を希望される方を対象に、関係機関との連携を行っています。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		<input type="radio"/>		現在行えていません。 今後は定期的な研修への参加やスーパーバイズを受ける機会を設定していくたいと考えています。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>		現在実施していませんが、今後利用者様や保護者様からの要望があった際には、検討していくたいと考えています。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		<input type="radio"/>		年間を通して参加できるように、調整をしていきたいと考えています。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		LINEのメッセージや口頭で、毎回の様子を共有できるようにしています。 保護者様からの意見や希望を肯定的に受け止め、相談しやすい雰囲気づくりを心がけています。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		<input type="radio"/>		現在は、各ご家庭ごとの対応を行っています。 保護者様向けの交流会や座談会等の開催については、今後検討していくたいと考えています。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		分かりやすい説明を行うように努めています。 ご家庭によって負担額が異なる部分に関しては、具体的にどの様な違いがあるかをご説明しています。	
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		利用者様や保護者様の意向を適宜確認し、支援内容に反映させていくように努めています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインの指針及び、利用者様のより良い成長を目的とした個別支援計画を作成し、承諾のサインをいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		ご要望に合わせて、速やかに対応できるよう、心がけています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		<input type="radio"/>		現在父母会の開催は行っておりませんが、教室のイベント等で保護者様やきょうだい同士が自然と交流できるような場面を設定しています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		校舎内の掲示板やインスタグラム、教室LINE等を用いて、日々の活動の様子を分かっていただけるように広報活動を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットにて保管をしています。 個人情報にアクセスできる端末に関しては、パスワードを設定する等、適切な対応を行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		利用者様・保護者様の状況に応じて、ICTやその他の視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等を実施しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		地域の方との交流を深めていけるよう、開けた教室運営を行っています。 (地域のお祭り、子ども会、季節ごとのイベントごと等)	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		教室で実施した訓練の様子を、インスタグラム等を通じて発信したり、閲覧書類として手に取れるように設置したりしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		災害に備え、定期的に各種訓練を実施しています。有事の際に適切な行動がとれるよう、職員全体で共通理解を深めています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		服薬をしている場合には、事前に確認を行い、行動や体調面を注意して見守るようにしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			現在該当する利用者様はいません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		都度ヒヤリハットの記録を作成し、保管しています。 職員間で情報を共有し、同様の事象が発生しないよう、改善に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		人権擁護・虐待防止等に関する研修に定期的に参加しています。研修で学んだことを、職員全体で共有できるように徹底しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		利用者様の安全を確保するという観点から、行動の制止や制限等を行う可能性はあることをご説明し、同意を得ています。	